

二四

18



丙 昭和七年九月十日
一七八八號

立案 昭和七年八月十一日
決裁 昭和 年 月 日

爵位課長

宗秩寮總裁

宮内事務官

海軍中將山口多聞 叙位ノ件

昭和七年八月七日裁可
臺帳記入 月 日
官報報告 六月五日達 濟

裏面白紙



海軍中將山口多聞叙位ノ件
右謹テ裁可ヲ仰ク

昭和十七年八月七日

内閣總理大臣東條英機



内

閣

めくれず

裏面白紙

人海位第一

號

案起

昭和五年八月五日

裁可

昭和五年八月七日施行

決定

昭和 年 月 日

内閣總理大臣

内閣書記官長

（印）

内閣書記官

（印）

（印）

海軍中將山口多聞叙位ノ件

六月五日付

本件ハ事變地ニ於ケル危篤者ニ付特ニ今月五日付ヲ以テ叙位發令方取計ハレ度 内閣

内閣

内閣人海軍一号

敍從四位正 昭和三十二年二月一日 昭和三十七年六月五日 海軍中將正五位 山口多聞

右文武官 敍位進階内則第三條ニ依リ

謹テ 奏ス

昭和十七年八月四日

海軍大臣 嶋田 繁太郎



海軍

五頁

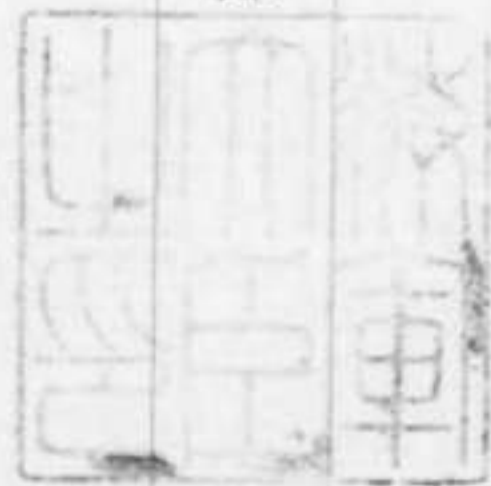
169

官報
不登載

海秘人第八〇六號

昭和十七年八月四日

海軍大臣 嶋田 繁太郎



内閣總理大臣 東條 英機 殿

海軍中將山口多聞敘位ノ件別紙上奏書進達ス

追テ本件特ニ進級ト同日附發令相成候様取計ヲ得度

(終)

海軍



170

裏面白紙

丙 發第二四一號

一海軍中將正五位山口多聞

右六月五日附テ以テ敍位相成候ニ付位記及回送候
條傳達方御取計有之度候也

昭和十七年九月廿一日

宗秩寮總裁子爵武者小路公共

海軍大臣 嶋田繁太郎 殿

官 内 省



二號紙